そこで、イエスは、その人だけを群衆の中から連れ出し、その両耳に指を差し入れ、それからつばきをして、その人の舌にさわられた。そして、天を見上げ、深く嘆息して、その人に「エパタ。」すなわち、「開け。」と言われた。すると彼の耳が開き、舌のもつれもすぐに解け、はっきりと話せるようになった。（マルコ 7:33-35）

発行/日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッド教団
ろう者伝道部
〒170-0003　東京都豊島区駒込 3-15-20
TEL　03-3918-5935
発行者　井桁正巳
編集者　五島靖子
タイトルバック写真　山中和明

誰が福音を伝えるのか

御影神愛キリスト教会　牧師
瀬古慎二

「ユダヤ人には、ユダヤ人のようになった。ユダヤ人を得るためである。」

Ⅰコリント九章二十節

私が、ろう者の方々と接するようになったのは、小学生の高学年頃からだったように思います。通っていた教会（御影神愛キリスト教会）にろう者の方々がおられたからでした。その頃から私の中にあったろう者の方々の印象は、「ともかく明るい人たち」というものでした。実際、教会に集っていたろう者の皆さんは、私の顔を見るといつも満面の笑顔で手を振って挨拶をしてくれるのです。それは本当に世の光とされた神の子としての輝きを感じさせるものでした。そして、その印象は、今も変わらないままです。ろう者の皆さんの主への単純な信仰姿勢にはいつも教えられます。

そんな私が、今、ろう者の方々と関わらせて頂いている中で感じていることは、もう少し違うことです。それは、「ろう者のためには、ろう者の方々でなければできないことがある。」ということです。というのは、挨拶ぐらいの付き合いの時には、分からなかったですが、少し関わりが深くなってくると今まで気づかなかったことを知るようになって来ます。それは、ろう者には、ろう者の文化がある、ということです。

例えば、言語の違いです。ろう者の方々は、手話を使われますが、これも日本語を手話で表現するという単純なものではなくて、やはり手話は、手話という別の言語であるし、手話にも日本語対応手話というのと日本手話という二種類あるようで、ろう者の方々にとっては日本手話の方が、スムーズにコミュニケーションが取れるようです。また、言葉の文化の違いもさることながら、やはりろう者同士のコミュニケーションの取り方も、健聴者とは違うことが分かります。特に全国ろう者聖会などに参加してろう者の方々ばかりの中に入ると、ちょっと外国に来たような異文化体験をしている感じにもなります。このように様々なろう者の方々と接していると、やはり健聴者には分からないことが、いろいろあることを気付かされるわけです。

そこで、私が一番感じることは、ろう者の方々に福音を伝えることが出来るのは、やはり、ろう者の方が最もふさわしいということです。もうすでにクリスチャンの方でしたら、ろう者も健聴者も関係なく神の家族として交わりを持ち、関係も築きやすいと思いますが、まだ主を知らない方々に対しては、健聴者が福音を分かち合うには限界があるように思います。ですから、「ろう者によるろう者伝道」ということが本当に必要になって来ると思います。

今、ろう者伝道者の先生方が増えていることは本当に感謝なことですが、でも、伝道は先生たちだけでするものではありません。すべてのクリスチャンたちが共に行うものです。愛する皆さん、あなたでなければ福音を届けられない方々がいるのです。共にろう者の方々の救いのために働きましょう。

ろう者トレーニングスクール

トレーニングスクールが二月オンラインで開かれました。講師は郡美矢師で、「おもしろ聖書クイズ～クイズ形式で聖書の中身を学ぶ」というテーマで楽しい学びの時を持ちました

講師のひとこと

三滝グリーンチャペル　郡　美矢

恒例のろう者トレーニング・スクールは二月十日(木)～十一日(金・祝)の二日間開催される予定でしたが、コロナが再び蔓延し、対面での開催が難しくなりました。オンラインに切り替えて十一日のみ行いました。

「聖書は身近に置いて楽しく読もう！」とクイズ形式で学びました。各教会で一チームになって、聖書のことを楽しく学び、盛りあがったと思います。知っているつもりでも新しい発見があったり、確認ができたりと学びの深い内容でした。一人ではなく、教会ごとに団結してみんなで話し合ったり、一緒に考えたりしたので、とても有意義な学びとなり、自信につながったのではないでしょうか。

十六教会で、六二人の参加があり、感謝でした。

参加者の感想

名古屋神召キリスト教会　堀尾　美砂恵

ハレルヤ、主のみ名をほめたたえます。二月十一日（金）、オンラインにて行われたトレーニングスクールに参加できて、主に感謝します。

画面を通して、各教会の教職、信徒たちの元気な姿が見られてうれしかったです。郡美矢師が聖書に関わる問題を出して、各教会の回答者が三つのものの中から正しいと思うのを一つ選んで答えました。知っているつもりが、間違えて答えてしまうことがありました。クイズは、聖書のことをもっと知るのによい機会だと思います。

オンラインより会場で信徒たちと会って共に主をほめたたえたいと思うので、コロナが早く収束することを祈っています。

「見よ。兄弟たちが一つになって共に住むことは、なんというしあわせ、なんという美しさであろう。」（詩篇一三三篇一節）

松山神愛キリスト教会　山中　和明

出されたクイズは、兄弟姉妹と話し合って答えましたが、頭が解っていても、違った答えをしてしまうこともありました。チームワークが難しいと思いました。でもクイズのおかげで、知識を蓄える事が出来て感謝します。

ハレルヤ、主に感謝します。

松山神愛キリスト教会　重松　富久子

二月十一日のトレーニングスクールに参加しました。郡師からＺＯＯＭを通して、クイズが出されました。チームで話し合いましたが、間違えていないか焦ってしまいました。クイズの答えは正解と、間違いと半々でした。色々教えて頂いて感謝でした。もっと勉強をして、磨いていきたいと思っています。楽しかったです。

ありがとうございました。

聖書クイズ

1．ハレルヤの意味は？
①救って下さい
②神をほめたたえよ
③恵みあれ

2．何の書に出てくる？
少年・巨人・５つの石
①土師記
②サムエル記Ⅰ(上)
③サムエル記Ⅱ(下)

3．十戒は何に保管した？
①祭壇
②石
③契約の箱

答1．② 2．② 3．③

新伝道師紹介

伝道師となって

小岩栄光キリスト教会
金井　扶美代

ハレルヤ！ 主の御名を賛美いたします。

伝道師となって二か月経ちましたが、まだまだ緊張する日々を過ごしております。今は祈祷部を担当し、朝祷会を兄姉達と共に行っています。また、聖日礼拝の司会(賛美リーダー)としても奉仕を主に心から捧げています。その他、主任牧師の安間正道牧師の働きのお手伝いもしています。

先日は、教団「海外伝道部ニュース」の発送作業を行いました。信徒の方々とお手伝いをする時間は楽しいです。今後は、聖霊に導かれてさらに福音を伝えていきたいと思っています。

聖書には

「神が私たちに与えてくださったものは、おくびょうの霊ではなく、力と愛と慎みとの霊です。」(Ⅱテモテ一章七節)とあります。主に願い求めて歩みたいと望んでいます。

未熟な私ですが、これからも母教会で仕えつつ、主と共に前進すること、主に委ね、すがりついて行きます。どうぞお祈りしてくださいますようにお願いいたします。

主に感謝しつつ、栄光を主にお捧げいたします。栄光在主。

＊小岩栄光キリスト教会のろう者伝道と、ろう者伝道師の働きについて、次号のエパタで安間先生が書いて下さいます。

ろう者伝道師として　任命されて想うこと

四万十キリスト伝道所
大森　たかみ

三月から「月曜ろう者礼拝」をゼロからスタートさせ、ろう出席者は皆無の日もありますが、手話で織りなす御ことばに恵みを受けています。今は、司会・賛美・祈祷など一人での担当ですが、全て一人で担っておられる健聴牧師が「皆、そこから出発ですよ。最初から出来上がっている教会よりも、開拓の方が良い面もありますよ。」と励ましのエールを送ってくれました。

「私たちは知っています。苦難は忍耐を、忍耐は練達を、練達は希望を生み出すことを。」(ローマ五章三―四節)

広大な幡多地方には、高齢のろう者が多く暮らしています。彼らの霊の眼が開かれますよう、地道に働きかけ、祈りつつ伝道に励んでいく所存です。お祈り下さいませ。

四万十キリスト伝道所　牧師
谷口　芳彦

主のため福音のために、ろう者伝道師に就任されました大森たかみ先生に、御霊により心からのエールを送ります。信徒として伝道しても良いのでは、そういう意見も聞こえてくる中で、残れる生涯を伝道のために献身していくことを内外に名実ともに明らかにしたのです。

〝Never too late〟何事も遅すぎるということはない、神が彼女を通して成し遂げようとしていることがあるはずです。それをしっかり主に聞いて、主のおっしゃることをなさっていかれますように、お祈りしています。

ろう部　新入部員紹介

山形神召キリスト教会
布施　和恵

初めまして。この度新しくろう者伝道部員になりました布施和恵です。

私は、小学生の頃、両親と共に、全国ろう者聖会に参加していました。その時には、いつも、お兄さんお姉さんたちが遊んでくれたことを思い出します。そして今、あの時のお兄さんお姉さん方が、ろう者伝道師となられ、私も同労者として、神様のために仕えられることを嬉しく思い、神様に感謝いたします。

これからは、ろう者伝道部、並びに、ろう者伝道師の先生方と共に、ろう者の救いのために、励んでまいります。世界のろう者クリスチャンたちとも、つながり、信仰を励まし合いたいと願っています。

また、いまだに、聴者の考えが第一とされる傾向がありますが、ろう者の考えが優先される企画と環境づくりを願い、取り組んでいきたいです。

これからどうぞよろしくお願いいたします。

★２０２２年ろう者聖会★

・日程　２０２２年８月１０日（水）～１２日（金）

・講師　古川伝道師、加藤伝道師　・会場　ホテルアネシス瀬戸大橋

★ろう者聖書学校入学者募集中★

QRコードを読み取って動画をご覧ください。

郡美矢師挨拶

★ろう部
ホームページで
手話リレー
メッセージを
掲載中！

手話に出会って

生武和子

手話との出会いは半世紀以上前の事になります。私が姫路に赴任して間もなくの事でした。ある日、祈祷会に一人のろう者が来られました。私は手話を全くできませんでしたので、牧師の説教を紙に書きながら伝えました。この事を通して手話の学びに導かれました。

最初の手話の学びは、一人の兄弟が七条基督教会（アッセンブリー京都教会）から、月一度日曜日の午後手話を教えに来て下さいました。手話を知って欲しいという熱い思い、数回にわたり熱心に教えて下さいました。心から感謝しております。その後、姫路福祉会館に手話の本を求めに行き、そこで開かれていた手話勉強会に出席して学びました。しばらくすると、数名のろう者が礼拝に来られましたので、必要に迫られて未熟ながら手話通訳を致しました。すると受洗者が起こされ、また新しく導かれる方々も起こされました。感謝です。

また、クリスチャンではありませんが、手話を教えてあげますと、ろう者が次々と来られ、厳しくまた丁寧に教えて下さったこともありました。

昔、祈祷会に、あのろう者がこられた事は、後に手話による福音の働きが、始められ進められる為の神様の御計画だったのかな、と思ったりします。その後、教会員の中からも、手話を学ぶ方々が起こされ礼拝で手話通訳奉仕者として用いられ、ろう者と共に福音の業が進められております。

現在は若い手話奉仕者も起こされ、ろう者の暖かい励ましを頂きながら、礼拝での手話奉仕に励んでおります。

全ては主の御計画と、導き助けによる事を思い感謝して、さらなる前進を祈り励みたいと思っております。

ハレルヤ！

「怠らず、励み、霊に燃えて、主に互いに仕えなさい。」

ローマ十二章十一節